

新技術研究成果証明書

研究名称：衝撃弾性波法による管路診断に関する共同研究

(成果証明書番号 第23004号)

研究成果品：「衝撃弾性波検査法による管路診断技術資料」 2012年3月

(研究の目的)

本研究は、非破壊検査法の一つである衝撃弾性波法を下水道管きよの劣化診断に活用するために、その解析原理や適用性を明らかにするとともに、調査・解析・診断方法、ならびに結果の利用方法について検討し、技術資料としてまとめることを目的とする。

(研究の内容)

本研究の主要な検討項目は、以下のとおりである。

- (1) 衝撃弾性波検査法の解析原理
- (2) 評価可能な劣化事象と検査条件
- (3) 衝撃弾性波検査法による管の診断指標
- (4) 衝撃弾性波検査法による管路診断の手順と方法
- (5) TVカメラ調査結果との総合判定
- (6) 衝撃弾性波検査法による結果の利用方法
- (7) 技術資料のとりまとめ

(研究の期間)

2009年11月から2012年3月まで

(研究の成果)

本研究の成果である技術資料を活用することで、衝撃弾性波法を用いた下水道管きよの診断が出来るとともに、調査、解析、診断ならびに結果の利用方法に関する技術的事項を示していることを確認した。

(共同研究者)

本研究は、財団法人下水道新技術推進機構と下記2社による共同研究である。

積水化学工業株式会社

ベントフ株式会社

財団法人下水道新技術推進機構に設置された技術委員会において厳格なる審議を行った結果、本研究は上記の研究成果を確認できたことを証明する。

2012年3月31日

財団法人 下水道新技術推進機構

理事長

石川 忠男

